

文化服装学院生に聞きました！



おしゃれZ世代のホンネ  
グループインタビューレポート

2021.10 株式会社 双葉通信社

FUTABA TSUSHINSHA CO.,LTD.©2021 ALL RIGHTS RESERVED.

本グループインタビューは、  
文化服装学院ファッション流通科ファッションプロモーションコースと(株)双葉通信社による  
コラボレーション授業の一環として、文化服装学院の在学生 = ”おしゃれZ世代” を対象に、  
コロナ禍の暮らし、コミュニケーション、ファッション購買の実態を把握するため企画しました。

弊社では事前に、文化服装学院在学生475名が回答したWEBアンケートも実施しています。  
本グループインタビューには、文化服装学院ならではの個性ある学生が集まり、  
アンケートに表れなかったホンネも掘り上げています。  
おしゃれZ世代を知る一助として、このレポートをぜひお役立て下さい。

- 調査方法  
グループインタビュー
- 調査対象  
文化服装学院の在学生 計3組15名
  - GROUP 01: 5名 (19歳3名・20歳1名・25歳1名、男子3名・女子2名) ※25歳男子1名は留学生
  - GROUP 02: 6名 (19歳3名・20歳3名、男子3名・女子3名)
  - GROUP 03: 4名 (19歳3名・20歳1名、女子のみ)
- 調査日  
2021年7月14日・15日
- 調査企画・実査  
株式会社 双葉通信社
- 協力  
文化服装学院ファッション流通科ファッションプロモーションコース



**Insights**

## 交友関係も体験もリアル重視

- インスタより、目で見ただけのものに信じる。
- 友達は大事にしている。コロナで遠出が難しく、会えるリア友とのコミュニケーションが深まっている。

## 「おすすめ消費」が標準

- 新しいモノ・コトを知るきっかけは、友達やSNSの「おすすめ」。
- SNSの「おすすめ」のアルゴリズムに疑問はもたず、むしろ効率的と感じている。

## 緊急事態宣言明けで、「SNSに上げるネタ」は増える

- コロナ禍で行動範囲が狭まったことで、SNSに上げるネタは、イエナカや近場の小さな楽しみ、買ったモノ、おもしろ動画や推しに留まっている。
- 学生には”積極的な外出派”も”自粛派”もいるが、緊急事態宣言が明ければ、アウトドアや小旅行、イベントへの外出が増え、SNS投稿も増えるとみられる。

## ウソや欺瞞に敏感。「本心から好き」を大事にする

- SNS上の嘘やステマには気づいており、インフルエンサーを動員した大量宣伝には冷ややか。
- 信用できる人＝「本心から好きなものを発信する、宣伝臭のない人」
- D2Cのデザイナーやスタイリスト、スケーターなど、「信じられる人」にはついていく。

## Instagramとはアンビバレンツな関係 依存しながら、インスタ上のヒエルラルキーにストレスも

- インスタがアイデンティティになっているから、つながる相手は選ぶし、後に残る写真には気を遣う。投稿はストーリー中心。
- リアルと”インスタ人格”のギャップに冷める。フォロワー数至上主義には反発。
- インスタがすべてだと思わないし、思われたくもないが、「いつもと違う自分」や「盛れた私」を見てほしい自己顕示欲もある。

## 動画は「複数のプラットフォームで」「見たいところだけ効率的に見る」

- Instagram・TikTokで短尺動画やさわりを見て、YouTubeで長尺・全編を視聴。
- 「スキップできない」インスタの投稿動画は見ない。
- 高校時代から、テレビは「配信・アプリで見るもの」。もう一度見たいシーンはtwitterで検索して動画で視聴。

## 「信じられる情報」は複数の手段でチェック

- 「インスタはうわべ」だから、google検索、ホンネ情報のわかるtwitter、ネットのレビューも併用して調べる。
- 特に外したくないのはコスメ、映画、食、病院探し。ただしファッションは自分の「好き」を信じる。

## かぶりたくない

- 小さな差異であっても自分らしさは主張したい。特に友達とかぶるのはイヤ。
- 似たテイストでも、その他大勢とは違うブランドやデザインが欲しい。
- 入手が難しいもの、レアものは買うモチベーションになる。閉店商法には弱い？

## 「古いか新しいか」で価値を区別しない

- 古着、親世代のブランド、昔のアナログなカルチャーが好き。選択眼や組み合わせのセンスで価値を創り出す。
- 好きな系統やデザインが確立しているため、新作にこだわらない。メルカリ・古着屋の通販などで、旧シーズン商品や廃番品を目ざとく探す。

## 実店舗は必要な場所

- お金がないから買い物の失敗は痛手。カード払いもまだ自由ではなく、実店舗は商品を確認するために必要。
- ショップは学びの場。商品のバックグラウンドはショップ店員から教わることが多い。



**Communication**



### 友達におもしろいコトをシェアする方法： 「直接会って、インスタのDM、ストーリー、LINE」

- 教え合うのは映画や食
- メルカリでブランドのアーカイブを調べて似合いそうなものを教え合う。でもかぶりたくないから、ほんとに欲しいものは仲いい子にしか教えない。教えてポチッとされたら買えなくなる
- TikTokやYouTubeで見たおもしろい人をスクショしてLINEで送る。画面録画をストーリーに載せる人も
- 友達がApple musicやSPOTIFYの曲をストーリーに載せ、それを自分のアプリに落として聞く
- SNSで人と交流するのは苦手。好きなモノの情報収集に特化

### 知り合ったらLINEよりインスタ交換。文字が面倒だから。

- LINEは文字にするのが面倒くさい。用がないと交換しない。
- インスタでしかつながってない人の方が多い。

### ”仲良しの証”を残したい。 コロナで作れなかった思い出を補いたい。

- 仲間で日記のように毎日写真を撮り、LINEのアルバムに載せている。去年登校できなかったから、思い出作りのために
- “仲良しになった証”に、お互いの誕生日に全員で写真を撮り、メッセージを書いて渡す

### 誕プレ交換が大好き。高校時代から習慣に。 他愛ないものからコスメ、ファッションアイテムまで

- お互いにあげたものは、サボテン、芋けんぴ、トランクス、オニツカのスニーカー
- みんな今年もう20歳なんでブランド物が多くて。シャネルとかディオールのコスメ、香水、ミストをあげたり、もらったり。コスメやリップが多い
- プレゼント交換は高校時代からの習慣。予算は暗黙の了解で一人5000円～。仲のいい子ならもう少し高くなる。化粧品とかほとんど物々交換。あげたものが返ってくるみたい

### 映画の感想を言い合いたいから、 映画館は友達と行きたい。

- 家で一人でも見るけど、例えば「君の名は」でもみんな感じ方が違う。人それぞれの感じ方を聞いて、「おっ」と思ってもう一回見たくなる、そういうのが好き。



**Fashion**

### 一生ものとは？

「高価で大切に扱いたいブランド品」「親からもらったもの」

「大人を連想させるもの」

- 20歳の記念に母親に買ってもらったサンローランのバッグ
- 大学卒業のお祝いに買った、ルイヴィトンのアーティストコラボの限定バッグ。長く使えそう
- MQプラネットの4万円のSV925リング。高いものは大切に扱う。落としたら泣く！
- 母からもらったリング、エルメスのチョーカー
- 財布。ミュウミュウよりも、大人向けのセリーヌやロエベ
- ちょっといいやつプレゼントでもらった。めちゃめちゃベーシック。そんな高くないけど銀色のチェーンデザインで、本当にずっと使えるのを見越して選んだのが、フィリップ・オーディバールのプレスレット

### カスタマイズ商品は買う？

失敗したくないから手が出ない。

- スニーカーは気になるけど、後で気が変わるかもしれないし、思ってたのと違ったらイヤでやめた
- カスタマイズは一步間違えるとダサい。もともとのデザインの方が、結局失敗が少ない

### 今売っていない・入手できないものは買うモチベになる

- 廃盤になったアクセサリ
- デッドストックの靴
- 廃盤になる香水
- 店の人から”これ超売れるの早いから要る？”と言われると買っちゃう

### 一点もの・限定品・コラボは欲しくなる？

何でも飛びつくわけじゃない。

まずブランドに惹かれて、デザインによって考える。

- ハンドメイドのアクセやイヤリングは好きだった
- ナイキのスニーカーの抽選は応募しようかなと思った
- まずブランドで興味を持って、デザインによって買うかどうか決まる
- コラボはデザインが第一！MM6×ザ・ノースフェイスは欲しいと思っちゃった、デザインと機能性で。お金があったら買ってた
- 気に入ったデザインならあれだけど、先行、限定だからって買うことはない

### 商品の原産国を気にする？

産地の背景やこだわりはショップで学ぶ。

「何となくヨーロッパ派」や「気にしない派」も。

- アメリカ製は気にする。中国で作った方が安いのにアメリカ製にこだわっていると、いいと思う。地元のセレクトショップから教わった影響
- 生地に詳しい個人古着屋の店員が、一点もののカシミアの服を見せてくれて、「日本で丁寧だ」と思った。そういうのを教えてもらおうと、お金が貯まったら買いたくなる。
- ヨーロッパ、イタリア製は選ぶ動機になるけど、高すぎて買えない
- 日本よりフランス製がよさそう
- 日本製もいい
- 背景があればおもしろいのもかもしれないけど、特に気にしない。中国製だからいやとかはない